【公報種別】特許法第１７条の２の規定による補正の掲載
【部門区分】第２部門第１区分
【発行日】平成23年4月28日(2011.4.28)

【公開番号】特開2009-262079(P2009-262079A)
【公開日】平成21年11月12日(2009.11.12)
【年通号数】公開・登録公報2009-045
【出願番号】特願2008-116190(P2008-116190)
【国際特許分類】
Ｃ０２Ｆ　1/28　(2006.01)
Ｂ０１Ｄ　35/02　(2006.01)
Ｂ０１Ｊ　20/20　(2006.01)
Ｃ０２Ｆ　1/50　(2006.01)
【ＦＩ】
Ｃ０２Ｆ　1/28　Ｄ
Ｂ０１Ｄ　35/02　Ｋ
Ｃ０２Ｆ　1/28　Ｇ
Ｂ０１Ｊ　20/20　Ｅ
Ｃ０２Ｆ　1/50　５１０Ａ
Ｃ０２Ｆ　1/50　５３１Ｐ
Ｃ０２Ｆ　1/50　５４０Ｃ
Ｃ０２Ｆ　1/50　５６０Ｂ
Ｃ０２Ｆ　1/50　５６０Ｚ
Ｃ０２Ｆ　1/50　５２０Ｂ
Ｃ０２Ｆ　1/50　５５０Ｃ

【手続補正書】
【提出日】平成23年3月14日(2011.3.14)
【手続補正１】
【補正対象書類名】明細書
【補正対象項目名】０００３
【補正方法】変更
【補正の内容】
【０００３】
また水道水のない発展途上国においては、雨水や河川水等をそのまま飲用する場合があり、このため細菌や病原菌による健康被害が深刻な問題となっているだけでなく、更に地球温暖化、自然災害の多発から水不足が生じ、二十一世紀は水の世紀といわれるほど飲料水確保が重要な課題となってきている。
【手続補正２】
【補正対象書類名】明細書
【補正対象項目名】００４４
【補正方法】変更
【補正の内容】
【００４４】
活性炭は、粒状に限るものではないが、粒状であれば次に示すような形態が好ましい。粒子サイズの小さいものと粒子サイズの大きなものの２種類の活性炭を用い、サイズの小さい第１の活性炭としては平均粒径が５５～７０μｍの活性炭を用い、粒径の大きい第２の活性炭としては平均粒径が７０を超えて１２０μｍ以下の活性炭を用いる。そしてサイズの小さい第１の活性炭とサイズの大きい第２の活性炭の混合割合を１：１～７：１とし、このような活性炭を低メルトインデックスの結合材で固化する。ここでいう平均粒径と

は、各粒径の粒子の体積全体に占める割合を粒径の小さい側から累積していき、累積が５０％に達したときの粒径（メジアン径）をいう。